

URL http://kanagawanet.org/

「電力会社どうしてる」アンケート報告

2017年、神奈川ネットは、パワーシフトの動向を知るためにアンケートを実施しました。その結果、電力会社を変えた人の割合は29.5%で、そのうち自然エネルギーを選んだ「パワーシフト率」は11.7%でした。将来的に電気を変えたいという人の40.5%がパワーシフトしたいと答えています。まだ、電力会社を変えていない人も、「検討中」「迷っている」という答えが多く、情報が届けば、パワーシフト率はさらには伸びる可能性があります。



エネルギーの未来は、私たちが決める

パワーシフト見える化アクションチーム座長 青木マキ(ネット青葉/横浜市議)

見えてきた省エネと自然エネルギーの可能性

昨年夏のピーク時の電力需要は、日々の節電意識の定着と電化製品の省エネ性能向上により、想定に対してマイナス55.4万kWと大きく下回りました。供給は、再生可能エネルギー(太陽光、風力、地熱)が事前の想定から1062万kW増加し、その分火力発電はマイナス1259万kWとなっています。(*1)

一方で、本来は空いているにも関わらず、「送電線の空きがない」として、新たな自然エネルギーの発電所が送電線の使用を許可されず、自然エネルギーの拡大に水を差す事態も起こっています。こうした問題や、温暖化による気候変動に対応するために、地域分散型エネルギーシステム(*2)を展開する自治体の動きも見られます。

私たちが、パワーシフトしました! パワーシフト キャンペーン http://power-shift.org 神奈川ネットワーク運動 http://www.kgnf.jp

ポスターを掲示しよう ポスターをお届けします。QRコードからアクセス。「パワシフポスター希望」とお書きください。

電力会社どうしてる? アンケート 1月9日現在 回答者 1,488人 問1: 電力自由化後、電力会社を変えましたか? 変えた 29.5% 変えない 70.5% 問2: 電力会社を変えた理由は? 価格が安い 9.2% 自然エネルギーだから 11.7% その他 8.0% 現状満足 12.9% わからない 28.6% その他 29.6% 問3: 電力会社を変えない理由は? パワーシフト率 11.7% (変えた理由が自然エネルギーの割合) 問4: 今後、電力会社を変えたいと思いますか? 自然エネルギー 40.5% 安い電力会社 25.3% 変えるつもりはない 34.2%

然エネルギーに転換する動きへの共感度は高く、社会的評価にも繋がります。省エネ・創エネの取り組みの拡大に向け、市民の取組みを制度化し、インセン

自然エネルギーで暮らす未来へ 提案 ● 家庭も事業所も自治体も、自然エネルギーを「つくる・使う」 ● 省エネ・創エネの取り組みを後押しする認証制度をつくる ● 地域にある再生可能エネルギーの総量を把握して、実体のあるエネルギー計画を策定 ● 電気をシェアしてまちづくり ● 登録型市民発電所をつくる 家庭の屋根の太陽光をまとめて市民発電所に! 公共施設が生み出す電気もまとめて地域で使おう!

ティブを設けることが、さらなる後押しになると考えます。エネルギーを変えていく意思表示がエネルギー政策を転換させる力になります。

新春メッセージ 出合い、繋がり 共にアクション



代表 佐々木 ゆみこ (ネット宮前/県議)

神奈川ネットは、共に生きる社会をめざし、政治への市民参加を進めてきました。しかし、ここ数年の間に、特定秘密保護法、安全保障関連法、共謀罪法等が成立し、昨年の森友・加計問題では政府に不都合な情報を隠蔽するなど、付度政治が今なお続いています。

少年高齢社会が進む中、今年は診療報酬と介護保険改定が同時に行われます。医療と介護の連携が言われていますが、相変わらず予算の奪い合いが続いており、介護の社会化はますます後退しています。

昨年の解散総選挙に際し、安倍政権の選挙公約として、唐突に幼児教育・保育の無償化が打ち出されました。しかし、深刻化する虐待や貧困、孤立化など、多くの問題は置き去りにされたままです。

緊張が続く北朝鮮問題では、不安をおおるばかりで外交は機能不全に陥っています。国内の基地周辺では、恐怖と隣合

誰もが希望を持って生きられる社会をつくるための政治が求められています。社会を変えたいと考える人たちがと出合い、繋がり、その声に耳を傾けて、共にアクションを進めることで、社会を変える力としていきます。